

## 湘南教組第66回定期大会を成功させよう！

日程／5月20日(木) 場所／各分会 ※書面開催

今年度の湘南教組第66回定期大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から書面での開催とします。定期大会は、2020年度のたかひの総括を全代議員で確認しつつ、2021年度運動方針を決定する最高の議決機関です。5月20日までに執行部が各分会に訪問し、議案に対する質疑、意見、また、修正案等のやりとりを行っていきます。

各分会代議員は、積極的な大会の参加をお願いします。湘南教組第66回定期大会を成功させ、2021年度運動方針を決定し、力強い前進をめざしましょう。

〈定期大会までの日程〉

4月30日(金)	修正案提出	※19:00までに書記局に提出
5月11日(火)	統一職場集会	
	※質疑、意見受付開始	12日19:00までに書記局に提出
10日～11日	修正案整理	
13日～14日	修正案採決	※19日17:00までに書記局に提出
20日(木)	定期大会・統一職場集会	
	※各分会にて代議員による書面採決を行ってください。	
	※採決用紙提出	24日(月)19:00までに書記局に提出
28日(金)	結果報告集会	
	※各分会にて大会結果を共有してください。	

### 〈憲法改悪・国家主義復活反対へのとりくみ〉

2020年9月、安倍政権から「国民のために働く」菅政権になりました。

新型コロナウイルス感染症によって、私たちの生活は激変し、新しい生活様式が求められています。今、私たちが望むのは、一日でも早いコロナの収束と安心して生活できる社会です。そんな中、政権発足当初から、菅政権は学術会議問題から始まり、自公議員による「夜の銀座」訪問、森喜朗東京五輪パラリンピック組織委員会会長の女性差別発言、総務省の接待問題等々、1年にも満たない政権運営にもかかわらず、問題が続出し、私たちの望む「安心して生活できる社会」のための国会議論はなされていません。

そのような状態にもかかわらず、菅首相は衆院本会議での代表質問で、憲法「改正」について「憲法審査会で国民投票法改正も含め、与野党の枠を超えて建設的な議論を行ってほしい」と述べ、「(憲法審で)議論を重ね、国民の理解を深めていくことが国会議員の責任ではないか」とも語りました。憲法「改正」に対する姿勢は、安倍政権を継承しています。

湘南教組は日教組、神教組に結集し、学習会やニュース等で憲法についての学習の場をつくってききましたが、今後、より多くの組合員と日本国憲法について学び、また、平和フォーラム、平和運動センター等の集会に参加する中で世論喚起をし、憲法「改正」の発議を止める必要があります。

## <35人学級へのとりくみ>

神奈川県では、2011年度より小学校1・2年生の35人学級を行ってきました。この間、指導方法の改善や少人数による授業のための加配定数を、優先して小学校2年生の35人学級のための担任にあて、級外職員が少ない状態でとりくんできました。

今年度からすすめられる35人学級の小学校2年生においては、神奈川県では、すでに導入されていたため教職員総数はほぼ変わりません。

現段階では、2022年度以降（小学校3年生以降）も加配定数を基礎定数に振り替えることが継続されることになっており、これまで行われていた指導方法の工夫改善（専科指導・複数指導など）を行うことが困難になることが予想されます。学校現場では、級外教員が減り、担任の持ちコマ数が実質増えることになり、働き方改革とは逆行した施策と言えます。

加配定数の振り替えではない、教職員の純増を日教組、神教組を通じて意見反映していくことが、今年度以降はますます重要になります。

## <部活動改革について>

2020年9月1日、学校における働き方改革推進本部において、超勤縮減のための部活動のあり方に対する今後の方針が議論されました。改革の方向性として、2023年度以降、休日の部活動を段階的に地域移行する方針が出されました。

具体的な案として、

- ①休日の指導や大会への引率を担う地域人材の確保
- ②保護者による費用負担、地域自治体による減免措置等と国による支援
- ③拠点校（地域）における実践研究の推進とその成果の全国展開や地方大会の在り方の整理などが提示されました。

今回の案は、働き方改革のみの視点で議論されており、分会からも様々な意見が届いています。

部活動改革については、働き方改革の視点だけでなく、学校教育における部活動のあり方、生徒にとってのよりよい部活動のあり方等、さまざまな視点にたった議論が必要です。湘南教組は、部活動については、教職員、生徒、保護者、地域住民等、さまざまな観点に立った丁寧な議論が重要であるという立場から、日教組、神教組に意見反映していくとともに、これらの動きに注視していきます。

## <定年延長について>

2021年、通常国会において、国家公務員の定年延長法案が再提出されました。法案は現行の60歳の定年を段階的に引き上げて65歳とするものです。同法案と同じく、今後、地方公務員の定年延長法案が可決されれば、私たちも国と同様、段階的に定年年齢が65歳に引き上げられます。

右図のように、現在、53歳（今年54歳）の人からは定年年齢が65歳になります。

定年延長に関しては、雇用と年金の接続の観点からは、一定評価できます。しかし、現在の再任用制度の課題として挙げられている労働条件の整備が依然とし

定年延長のイメージ						
西暦	60	61	62	63	64	65
2022						
2023						
2024						
2025						
2026						
2027						
2028						
2029						
2030						
2031						
2032						

↓

シミュレーション								
西暦	定年年齢	現在年齢						
2021	60	60	59	58	57	56	55	54
2022	60		60	59	58	57	56	55
2023	61			60	59	58	57	56
2024	61			61	60	59	58	57
2025	62				61	60	59	58
2026	62				62	61	60	59
2027	63					62	61	60
2028	63					63	62	61
2029	64						63	62
2030	64						64	63
2031	65							64
2032	65							65

て改善されない中での定年延長には、不安な思いを抱く組合員が多くいるというのも事実です。

湘南教組は、高齢期の働き方、また、賃金体系も含め、公務員連絡会、日教組、県労連、神教組に結集し、より一層のとりくみをすすめる必要があります。

## <組織拡大強化>

教職員の世代交代がすすむ中、2021年度は180名近い新採用、転任採用者を迎えました。組合運動の継承と働きやすい職場づくりをすすめていくためにも、組織の強化拡大は欠かせません。また、学校現場の課題や組合員の困難な状況の改善のためには、組織の人数や結集力が問われます。湘南教組は組織化を最重要課題として、今後も、各分会と連携することはもとより、組合員ひとり一人の立場にたって考え、とりくみをすすめていきますので、各分会での新採用、転任採用、未組合員の組織化をお願いします。

## 執行部のつぶやき

新採用のころ、わたしは組合に入っていなかった。時々他の部屋に入って何やら話したり、相談したりしに行く人たちを横目に職員室で仕事をしていた。そして職員室に帰ってきた人達の様子を見ると様々な表情をしていた。ため息をついている人、興奮気味に何かまくし立てている人、何かしら考え込んでいる人などがいて、わたしはそんな人たちの様子を不思議な思いで眺めていた。



しばらくして、同僚の勧めもあり組合に入った。何のことはない、分会の場は色々な相談ができたり、悩みを打ち明けたり、職員室ではできないぶっちゃけ話ができたりという、話題の宝庫だった。こんなことまでも話せるのかと感動したものだ。分会集会があるとたくさんのお話や情報で自分の視野が広くなり「たくさんのお土産」をもらったようだった。

そしてそんなわたしも執行部に出ることになった。「ちょっと外から学校をみるのもいいかな。」なんて気持ちもあり引き受けることにした。

執行部に入ってみると、そこには「ちょっと外から学校をみる」以上の情報にあふれていた。今まで知らなかったような話題が次々と飛び交い、その様子にはじめのうちは目を丸くしたものだ。「署名活動ってこんな運動につながっているんだ。」「アンケートはこんなに大切なんだ。」「去年参加した動員にはこんなに意味があったんだ。」「今でも学校現場ではそんな課題もあるんだ。」「自分の学区がある市町と他の市町とはこんなに状況がちがうんだ。」

毎日「たくさんのお土産」をもらい、自分がいかにたくさんのお話を知らずにのほほんと過ごしていたことに気づかされた。執行部に入ってたくさんのお話を知ることができた。あの分会に初めて入った時のように。執行部ってなかなか魅力的だ。そう感じている。

ただ少しさびしいのは、時々、話し合いの途中で職員室を出なければいけないとき。学年でわくわくしながら子どもたちのことを話しているとき、よく中座しなければいけないとき。同僚と指導法について熱い議論を戦わせているときに、時には中断して校門を出なければいけないとき。そんな時は心の中が「ちくん」とする。

でもわたしには職員室を出るときに、どんな時も「いってらっしゃい。」「お疲れ様。」「お願いします。」と声をかけてくれる同僚がいる。多くの仲間がいる。わたしが執行部へでかけることをわかってくれて、応援してくれる人がいる。いつもそんな声にささえられて校門を出ていく。

先生たちが子どもたちの笑顔のために頑張るように、わたしも先生たちの笑顔のためにもうひと頑張りしようと思い、今日も執行部へ向かう。

## <2021年 湘南教職員組合 女性部定期大会>

6月11日（金）に藤沢市民会館にて開催予定だった女性部定期大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今年度については書面開催とします。